

Rotary club Rotary

YACHIYO 週報

第2446回
2017年9月15日



八千代ロータリークラブ
CLUB NO.15070



ロータリー：
変化をもたらす

2017-18年度 国際ロータリーテーマ
Rotary : Making A Difference
地区活動方針 「理念と実践 ～ Think Next ～」

2017-18年度 クラブテーマ
「ロータリー 頑張らないで リラックス」

The Four-Way Test

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

今回例会行事

テーマ：クラブ協議会

卓話者：

担当：会長・幹事

9月22日 2447回 例会行事

テーマ：炉辺会談

卓話者：田村・江口・安江・嶋田・佐々木・浅野(正)各新入会員

担当：ロータリー情報委員会

◆◆◆◆ 2445回例会 ◆◆◆◆

2017/ 9/ 8

司会 安江 啓

「我らの生業」 「靴が鳴る」 斉唱
四つのテスト唱和

◆◆◆◆◆ 会長挨拶 ◆◆◆◆◆

会長 橋本 幹雄



本日は、時事問題についてお話してみたいと思います。本年度、流行語大賞に選ばれるかもしれない「一線を越えていない…」について、私見を少々…

一線を越えるとは、如何なることなのでしょう。辞書によれば「守るべきことを破る。してはならないことをする。」とあります。「してはならないこと」とは倫理的(道徳的)にしてはならないことでしょうか？それとも、法律的にしてはならないことなのでしょうか？

私は、45年間の仕事上で多くの人に出会った中で、一つの経験則を持っております。それは、三度云っても分からない奴は、本当のバカか、こっちを舐めてかかっていると判断してそれなりの対処をすることにしております。ですから、私にとっての一線とは、三度目の見切りの時なのです。

上記の私と同じ思いを今アメリカがしているのではないのでしょうか。再三の交渉・警告に拘わらず、六度目の核実験を行ったことはこの一線を越えたと云えるのでしょうか。この場合の一線とは、軍事・外交の面から云うと「レッドライン」と云うそうです。では、この赤色で引いた線とは何を意味するのでしょうか。軍事・外交において「レッドライン」を示すことは、相手国に対して「この一線を越えてはいけない。超えた場合にはタダでは済まさない」と宣言する意味を持っているのです。つまり、「レッドライン」を踏み

超えた場合には軍事力を発動するぞ！・攻撃してでも食い止めるぞ！・戦争も辞さないぞ！・と云う強い意志の宣言の事だと云うことです。アメリカにとってのレッドラインは、自国にICBMが届くと思われたときでしょうか。ただ「レッドライン」が「デッドライン」にならないことを、祈るばかりです。

一方、こんな国際情勢の最中だと云うのに、我が国においては、男女を問わず国会議員の先生方の不倫問題が巷を賑わせております。『私たちは、一線を越えておりません』『私たちは男と女の関係ではありません』と仕事と関係ない下半身の問題で、その出処進退を問われてマスコミの餌食となっております。では、これらの線は何色なのでしょう。勿論、ピンクラインと云うことでしょうか。

これは、当事者が「肉体関係がなければ(もしくは、肉体関係があったと証明されなければ)、正式な不倫ではない」という認識を持っていることが世論との大きなズレとなり、大きな物議を醸してしまったのではと述べる人もいます。(但し、正式な不倫であるのでしょうか？)

人間ですから、好きになってしまったら理屈で納得させようなんて出来ない相談ではないでしょうか。人間、本能には勝てません。好きになった相手がたまたま既婚者だったと云うだけですが…、ご自分の立場を軽率に考えられている、自分の職責よりも自分の欲望を優先させると云う実に人間らしい行動をとっていらっしゃるのでしょうか。自分のやりたいことをやるのであるならば、人に云われて職を辞すなどせず、堂々と文句を言われぬほどの実績を作りなさいと云うことです。高学歴で、学生時代遊ぶ暇のなかったツケが来ているのでしょうか？我が国の一線はどこにあるのでしょうか？

「われわれは道徳堅固でトラファルガーの海戦に負けるネルソンをもつより、ハミルトン夫人と姦通をしても、トラファルガーの海戦に勝つ將軍をもつ方が幸福である」 徹頭徹尾結果責任を問うイギリスの諺

人間とは、敢えて言うならば男は特に精神的に弱い生き物なのです。いろんな誘惑に対して自己を律することに脆弱なものなのです。これを、自覚するかしないかでその交友関係、人間関係が大きく変わってくるものです。ここに、二つのいい例があります。

「しみじみと涙して入る君とわれ 監獄の庭の爪紅の花」

「君かへす朝の敷石さくさくと 雪よ林檎の香のごとくふれ」

隣家の人妻に恋をして、その夫から姦通罪で訴えら

れた姦通の二人は市ヶ谷の未決監獄に収監される。その頃に詠んだのが上記の歌です。作者は、明治45年北原白秋27歳の時のもの。

4人の子供を残して逝った妻の死後、^{よわい} 40歳の時、身のまわりの家事手伝いに来ていた、自分の実兄の娘(姪) こま子(当時19歳)を妊娠(近親姦)させてフランスに5年間逃避行するも、帰国後、こま子との関係が再燃してしまう。その顛末を小説「新生」に発表することにより、この関係を一方的に精算しようとした作家 島崎 藤村

男って、どうしても無い生き物なのです。人間って理屈通りに行かないものなのです。だから、悩みながら、結局、『成り行き』に身を任せるしかないのかもしれない。「やっちゃったものは、しょうがない」『出来ちゃったものは、しょうがない』でも、上記のようなケースは相手があって、相手が同意して初めて成り立つ訳ですから、決してひとり相撲を取っている訳ではありません。秘密は共有すればするほど熱くなるのかもしれない。

人間『一つを得るためには、一つを失う』覚悟が必要ではないでしょうか。それが嫌なら、絶対に見つからない方法に徹するべきではないか。

◆◆◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆◆◆

幹事 三井 啓久



理事会報告

- ・お手元に50周年お疲れ様会のご案内を配布しました。開催後の残金については一般会計に組み入れる事としました。
- ・2名の新入会員推薦がありました。来週には皆さんに回覧する予定です。1名は飯生会員の推薦で高秀牧場の高橋秀行様、もう1名は遠藤会員の推薦で、故池田 等会員の後継者であります、池田 健様

です。

- ・ホームページ、Facebookに情報を掲載しております。例会時間、場所変更の確認等にご活用下さい。
- ・地区大会記念ゴルフに8名の登録を致しました。

他クラブ 9月例会日変更のお知らせ

- ・習志野RC 変更なし
- ・習志野中央RC 28日夜間移動例会 (18:30～池田屋)
- ・佐倉RC 7日ガバナー補佐公式訪問 21日夜間例会 28日ガバナー公式訪問 (四街道RCと合同 ウィンストンホテル・ユウカリ)
- ・佐倉中央RC 6日移動例会 (ガバナーエレクト事務所) 13日夜間通常例会 27日夜間例会 (貝殻亭)
- ・八千代中央RC 5日アクア2F会議室にて開催 19日休会 26日夜間家族例会 (東京湾屋形船)

茂原東ロータリークラブより幹事変更のお知らせです。森川 一喜幹事のご逝去に伴い、荒 徹(あら とおる)様が新幹事に就任されました。

今後、様々なイベントが予定されていますので皆さまご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

◆◆◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆◆◆

ロータリー情報委員会 委員長 小村 昌三

今年度の計画発表の際に未確定だった内容が決定しましたのでご報告致します。

9月22日は情報委員会の担当例会ですが、理事会の承認を頂き夜間例会に変更しました。パツノヴィータにて18時30分点鐘とし、炉辺会談を開催致します。会費4,000円、20時30分閉会予定です。

田村会員、江口会員、安江会員、嶋田会員、佐々木会員、浅野正幸会員の6名に、入会して感じている事をテーマにお話し頂く予定です。

社会奉仕委員会 委員長 永田 勝久

例年通り、秋の全国交通安全運動キャンペーンの協力依頼が来ております。

日時：9月16日(土) 13時～16時

場所：フルルガーデン1階 噴水広場

ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

50周年実行委員会 副実行委員長 君塚 欣哉

お手元に、50周年お疲れ様会のご案内を配布しました。回覧しますので出欠・バス利用等ご記入下さい。

日時：9月29日（金） 18時30分～

場所：レストランテ・カステッロ

会費：1,000円

送迎バス 17時30分発：緑が丘・浜野胃腸外科横

18時発：勝田台駅北口

親睦活動委員会 委員長 鈴木 利雄

10月13日（金）は 昼間に親睦ゴルフを開催します。

又、例会は月見の会・新入会員歓迎会となります。

場所：さわ田茶屋 18時30分点鐘

会費：5,000円

送迎バス 18時10分発：八千代中央駅

回覧しますので出欠のご記入をお願い致します。

出席委員会 副委員長 江頭 泰利

本日の出席率：出席対象者49名 出席者41名 出席率83.67%

◆◆◆◆◆ 例会行事 ◆◆◆◆◆

雑誌・クラブ広報委員会 委員長 宮田 慎吾

本日は沢山のスマイルが入りましたので、皆さんご承知の通り、上代会員に卓話をさせて頂きます。

テーマは「人生は運と巡り合わせ」です。ご清聴の程、よろしく願い致します。

テーマ：人生は運と巡り合わせ

卓話者：上代 修二会員



人生は運と出会いと巡り合わせについて話したいと思います。

上代牧場という牧場があったという事を知っている人も段々少なくなってきたので、まずそこから話して

みたいと思います。明治18年生まれの私の祖父である、上代芳太郎が生まれ育った大網白里を出て、東京の農園に働きに出たのが20歳だったと聞いています。そして現在江東区にある大島団地に牧場を作り、乳牛を飼育し、折しも明治乳業の設立と同時期だったようで、明治乳業専業の牧場として始まったようでありませぬ。創業から間もなくの大正12年の関東大震災では大変な被害にあったのですが、牛乳の需要が高まり運がよかったと祖父は話していました。私の父茂雄は大正2年生まれ、ちょうど10歳で震災にあいましたのでその恐ろしさは記憶にあり、路面電車の線路が山のようになり迫ってきたと話していました。震災後の火事の話もよくしていましたが、その災害からもいちやく立ち上がったのは、明治乳業との出会い、そして運に恵まれたと話しておりました。そして大和田新田に昭和10年頃に移転してきたわけです。その頃は電気も通ってなく、成田街道から自費で引いたと言っていました。その名残が今緑が丘の住宅街に立っている電信柱に、上代支線と書かれている訳です。多いときは300頭からの乳牛がいた牧場だったのですが、昭和46年ごろから住宅開発が進み昭和55年ごろ牧場をやめ現在に至っています。男兄弟2人で兄は牧場を継ぎ、私は東京農大に入り卒業後は何とか明治乳業に入れてもらおうと思っていたのですが、ここで転機がありました。昭和46年大学3年の夏休み、同級生の父親がマキタ電機の電動工具をオーストラリアに輸出する仕事をしていて、オーストラリアに若い二人で行って来たという話をいただき、是非にもということで行かせてもらいました。ブリスベンには友人の兄夫婦がいたので2週間以上お世話になり、色々な所に連れて行ってもらいました。その時、ボーリングへ行こうという話になり、行ってみると閑散としていてビックリしたのです。聞いてみるともう流行は終わり閉鎖した施設の使えるものは日本に送っているとのことでした。当時日本ではボーリングは大流行、一時間待ちは当たり前でした。父も周りからの勧めでボーリング場を作ろうかという気持ちが少しありましたので、この現状をいち早く伝えなければと思ったのです。また、上代牧場は大きな牧場という気持ちでしたが、オーストラリア、ニュージーランドの牧場は半端な規模ではなく、これは日本の牧場は太刀打ちできないと思われたのです。日本の酪農は乳価は抑えられ、飼料はどんどん値が上がるのですから、自給自足でやれる広大な土地が必要で国土の狭い日本、首都圏ではとても無理だと思われました。それで帰国後父と話し合い、400年からの歴史のあるゴルフに転換し、ゴルフ練習場を建設したので

す。それが昭和47年でした。というわけで大学生生活も一変し、土日は練習場の仕事となったのです。あのままボーリング場を作っていたらどうなっていたのか、このオーストラリア行きがなかったらと思うと、運が良かったなあと改めて思うところです。

大学を卒業してからはゴルフに打ち込む毎日でした。ちょうどジャンボ尾崎さんが活躍し始めたところで、当時周りのゴルフ場でプロを目指した研修生がたくさんいて、彼らとともに練習の毎日でした。プロになろうという気持ちは一つもありませんでしたが、せっかく始めたゴルフ、少しでも上を目指してという気持ちでした。「人が趣味でやれることを仕事にする」というのは並大抵の努力ではならないと思いますし、いくら努力しても最後は天性の才能というのが必要だと思います。これだけは生まれ持ったもの、どうしようもないのです。でも42歳まで様々な試合に出ることができ、多くの友人を持てたことは財産となっています。思い出深いのは、昭和61年広島八本松で行われた、報知アマチュアゴルフ大会で4位になった試合です。上位3人は日本の代表選手として世界アマなどで活躍している人たちばかり、優勝したのはゴルフ界で有名な阪田哲男選手でした。上位3人はハワイアマの出場権があったので、冗談半分に友達だった阪田さんに「哲ちゃんたちが出たからハワイに行けなかった。海外の試合にしょっちゅう行ってるんだから譲ってよ。」と言ってみたら、後から仕事で行けなくなったから代わりに行って来いと電話があり、本当にうれしかったことを覚えています。また、広島からの帰りの空港内のレストランで5～6人で食事をしたのですが、先輩で高橋さんという元柔道で名を売った人ですが大変な大酒のみ、上代の祝いだ飲むぞと言って、レストランの酒を全部飲み、売店へ酒を買いに走らされたことを思い出します。普段は怖そうな先輩でしたが、本当に良い人たちに恵まれたと思います。当時は酒を飲めないということにしてありましたから、しらふで先輩たちを飛行機に乗せ、当時は宅急便もないのでたくさん荷物を持ち大変でしたがこれも良い思い出です。酒の話ですが、大学を出てから42歳まで酒とマージャンは出来ないと行ってきました。それは当時ゴルフへ行くと帰りに一杯、そしてマージャンが付きものでしたから、ゴルフを終わってからそれに付き合うと会社にいる時間が無くなってしまふからでした。父も大学のときはよく酒を飲んでいるのを知っていましたので、卒業後は一緒に酒が飲めると楽しみにしていたと思いますが、ゴルフに関してはいろいろなことがあります。当時はマナー等にもうるさい先輩がいましたが、本当

に良き先輩に恵まれたと思います。25歳ぐらいだったと思いますが、中山カントリーで呼び止められ「上代君、プロになるつもりか」私はそんなつもりはありませんと答えると「そうか、それならゴルフバカだけにはなるなよ。しっかり仕事をし、趣味の一つとして上を目指しなさい」と言われたことは今でも大事にしています。

又運に恵まれた話、2004年タイガーウッズとラウンドできた話をしたいと思います。毎年宮崎のフェニックスカントリーで、ダンロップフェニックストーナメントという試合が開催されており、その本選が始まる前日の水曜日にプロアマの試合が開催されているのです。これにヤマザキビスコ、現在ヤマザキビスケットでは1974年第一回より全国の菓子問屋さんを招待しスポンサーをしていたのですが、2003年たまたま一人欠場がでて、誰かいないかということになったそうです。ここでまた強運、当時商工会議所会頭の小久保さんの紹介で高知の旭食品社長の竹内氏と知り合うことができていて、この方の紹介で参加することができるようになったのです。竹内社長は高知の黒潮カントリーのオーナーでもあり、私の娘と小久保の仲人もしていただいたりと大変お世話になっている方でもあります。また、ヤマザキビスケットの社長飯島氏は鷹之台のメンバーでもあり、前から私を知ってくれたところから中々参加できないこのプロアマに参加出来ることになったのです。そしてプロアマに出させていただいて2年目の2004年誰もが羨む憧れのタイガーウッズと一緒にラウンドすることができたのです。前日の夜に組み合わせを決めるパーティがあり、そこで1番くじを引き当てたことは夢のようだったことを覚えています。それから2005年はジム フェーリック、2006年は又、タイガーウッズ、2007年はイワン ポールターとこの4年間は人生の運をみんな使ってしまったかのような出来事ばかりでした。この世界ナンバーワンの彼らと一緒に18ホールを回り、目の前で彼らのプレーを見られたことは、ゴルフ人生最大の幸せ者だと思います。そしてプレーだけでなく、彼らのマナー、そして我々に対しての気遣い、世界の一流はすべてに素晴らしいと感心させられたのです。

最後に話はがらりと変わりますが、孝経の一節の話をします。まだ幼稚園、言葉の意味も分からないときに、「身体髪膚之を父母に受く、敢えて毀傷せざるは孝の始め也」「身を立て道を行い、名を後世に揚げ、以って父母を顕すは孝の終わり也」と父から覚えさせられたことが根底にあると思っています。もちろん何

もわからなかったわけでありましたが、父はこれを覚えさせたことで、親からももらった体を傷つけるな、しっかり仕事をして親を忘れるなと教え込んだのだと思います。親からももらったこの体と七光り、様々な人に会っての七光り、会長の言う「赤の他人の七光りと親の七光り」を大事にしていかなければと思いますし、また誰かの七光りになれるよう自己研鑽していかなくてはと思っています。人生は運と出会いと巡り合わせ、そして七光りの話をさせていただきました。

◆◆◆◆ ニコニコBOX (¥18,000) ◆◆◆◆

- 植村 正徳：阿蘇会ゴルフコンペ優勝してしまいました。
- 三井 啓久：上代さん卓話楽しみにしています。
- 浅野 正敏：上代さんどんなお話になるのか興味津々です。
- 風間 茂：上代会員卓話楽しみにしています。
- 菊川 秀明：上代さん卓話を楽しみにしております。
- 嶋田 陽一：上代会員卓話宜しくお願い致します。
- 宮田 慎吾：上代様卓話有難うご座居ます。
- 松戸 英雄：上代さん卓話楽しみにしています。
- 朝戸 健夫：上代会員、卓話よろしくお願ひします。
- 齊藤 昌宏：上代修二会員、卓話よろしくお願ひします。
- 市原 正男：上代会員、卓話たのしみです。
- 君塚 欣哉：上代会員卓話楽しみです。
- 大中 宏道：上代会員卓話楽しみにしています。
- 山崎 克己：上代さん卓話よろしくお願ひします。
- 及川 昭男：上代さん卓話楽しみにしています。
- 鈴木 利雄：上代会員卓話楽しみです。
- 齋藤 敏夫：欠席が続きました。

◆◆◆◆ 友愛BOX (¥16,000) ◆◆◆◆

- 橋本 幹雄：上代さんの上品な卓話を期待しております。
- 渡邊 敏美：50周年事業全体うち上げ、理事会で承認されました。よろしくおねがいします。上代さん卓話楽しみです。
- 櫻井 豊：上代会員、卓話楽しみにしています。
- 宮野 宗雄：上代会員卓話楽しみにしております。
- 福田 良博：上代会員卓話楽しみにしています。
- 飯生高一郎：上代会員卓話楽しみにしています。
- 稲山 雅治：上代さん卓話楽しみにしております。
- 中島 貞好：上代会員卓話よろしくお願ひします。
- 安宅 照男：上代会員卓話たのしみです。次週欠席します。
- 安江 啓：上代会員卓話楽しみにしています。
- 石渡誠太郎：上代さん卓話楽しみにしています。
- 中村 賢治：上代さん卓話楽しみにしています。
- 佐久間勇治：上代会員卓話楽しみにしています。
- 江頭 泰利：上代会員卓話楽しみにしています。
- 永田 勝久：上代さん卓話楽しみです。
- 杉山 智基：上代会員、卓話、宜しくお願ひします。楽しみにしています。

◆2017年9月のロータリーレート=109円



近隣クラブ例会日 例会場

火曜日 四街道R.C	(四街道ゴルフクラブ)
火曜日 八千代中央R.C	(ウィシュトンホテル・ユーカリ)
水曜日 習志野R.C	(習志野商工会議所会館)
水曜日 佐倉中央R.C	(ウィシュトンホテル・ユーカリ)
木曜日 佐倉R.C	(フランス料理・シェ・ムラ)
木曜日 習志野中央R.C	(習志野商工会議所会館)

例会出席率 ※欠席の時は必ず前日までに出席委員長に連絡して下さい。

	会員総数	出席対象者	出席	%
9/8	51	49	41	83.67

■出席委員長 江口 茂勇
携 帯:090-3133-0839 TEL:047-487-1085
FAX:047-485-5567

■例会日 金曜日 12:30 ~ 13:30

■例会場 パッソノヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ1F FAX:047-450-0050)

靴が鳴る

作詞 清水かつら/作曲 弘田龍太郎
お手 つないで 野道を ゆけば
みんな かわい ことりに なって
唄を うたえば くつが なる
晴れた み空に くつが なる

※大正8年9月19日に作られ、それまでの堅い文部省唱歌に対し、この曲の明るさは大変喜ばれました。

■クラブ会報委員会
委員長:大中 宏道 副委員長:安宅 照男

TEL:047-459-5806